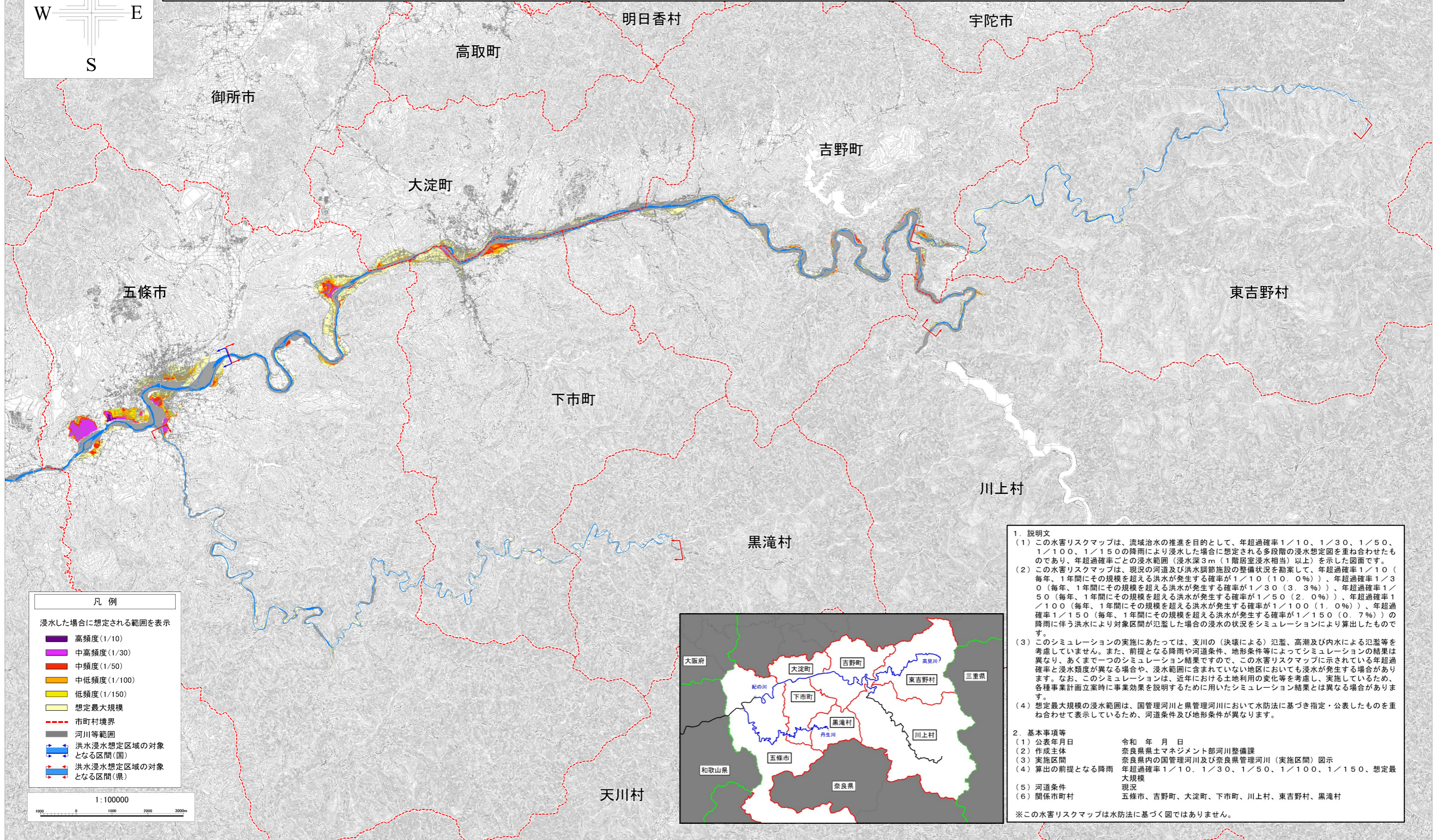
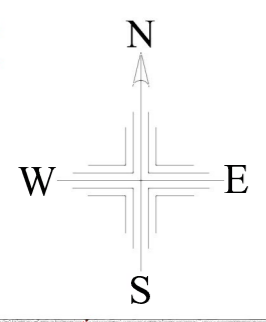


紀の川水系 国管理河川及び県管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ【現況河道】

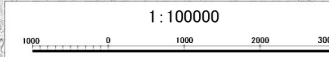
浸水深3m（1階居室浸水相当）以上の浸水が想定される範囲を表示



凡例

浸水した場合に想定される範囲を表示

- 高頻度(1/10)
- 中高頻度(1/30)
- 中頻度(1/50)
- 中低頻度(1/100)
- 低頻度(1/150)
- 想定最大規模
- 市町村境界
- 河川等範囲
- 洪水浸水想定区域の対象となる区間(国)
- 洪水浸水想定区域の対象となる区間(県)



1. 説明文

(1) この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深3m（1階居室浸水相当）以上）を示した図面です。

(2) この水害リスクマップは、現況の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1/10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/10（10.0%））、年超過確率1/30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/30（3.3%））、年超過確率1/50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/50（2.0%））、年超過確率1/100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/100（1.0%））、年超過確率1/150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150（0.7%））の降雨に伴う洪水により対象区間が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

(3) このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、近年における土地利用の変化等を考慮し、実施しているため、各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

(4) 想定最大規模の浸水範囲は、国管理河川と県管理河川において水防法に基づき指定・公表したものを重ね合わせて表示しているため、河道条件及び地形条件が異なります。

2. 基本事項等

| | |
|----------------|--|
| (1) 公表年月日 | 令和 年 月 日 |
| (2) 作成主体 | 奈良県土木マネジメント部河川整備課 |
| (3) 実施区間 | 奈良県内の国管理河川及び奈良県管理河川（実施区間）図示 |
| (4) 算出の前提となる降雨 | 年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150、想定最大規模 |
| (5) 河道条件 | 現況 |
| (6) 関係市町村 | 五條市、吉野町、大淀町、下市町、川上村、東吉野村、黒滝村 |

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

